

奈良県における市町村の望ましい姿（論点整理）

市町村の望ましい姿とは

- 社会情勢の変化に対応できる市町村
 - ・ 地方分権の進展等に対応するための十分な権限と財政基盤の確保や行政処理能力の向上 など
 - ・ 住民の生活圏の拡大等に対応した広域的なまちづくりの推進
 - ・ 住民の行政サービスに対するニーズの高度化・多様化に対応できる行財政運営及び組織体制の確保
 - ・ 効率的、効果的な事務処理等をめざす行財政改革の推進
- 自ら判断し、決定のできる自立した市町村
 - ・ 自己決定を可能にする行財政基盤の確立
 - ・ 地域の特性を活かしたまちづくりの推進
 - ・ 自ら政策を立案実践していける組織体制及び人材の育成
- 住民参加型の行政を進める市町村
 - ・ 地域のコミュニティ組織や NPO などの民間セクターとの協働
 - ・ 行政情報の積極的な提供を推進

論 点

- (1) 分権型社会にふさわしい、奈良県における市町村のあるべき姿をどのように考えるか。
- (2) 総合的な行政サービスを担う基礎自治体として、奈良県における市町村の望ましい姿をどのように考えるか。
- (3) 地理的条件（平野部と山間部）、歴史的背景、高い県外就業率等、奈良県独自の課題を踏まえて、市町村の望ましい姿をどのように考えるか。